

岩手県感染症週報

平成 19年 36週号外

岩手県感染症情報センター

インフルエンザ、2006/07シーズン特集

インフルエンザ、2006/07シーズンの概要

- ・岩手県内における2006/07シーズンのインフルエンザの流行は、1月下旬から始まり、6月中旬に終息しました。流行のピークは、3月の中旬でした。
- ・4月中旬から5月上旬にかけて、例年より多く患者が報告されました。
- ・インフルエンザウイルスは、A香港型が1月から4月まで、B型が2月から5月まで分離検出されました。

流行期間と規模

2006/07シーズンのインフルエンザは、2007年第5週（1/29-2/4）から流行が始まり、患者数は増加を続けました。第12週（3/19-25）の定点あたり患者数26.2人をピークに減少しましたが、第16週（4/16-22）と第17週（4/23-29）に再び増加しました。その後、患者数は徐々に減少しました（図1）。

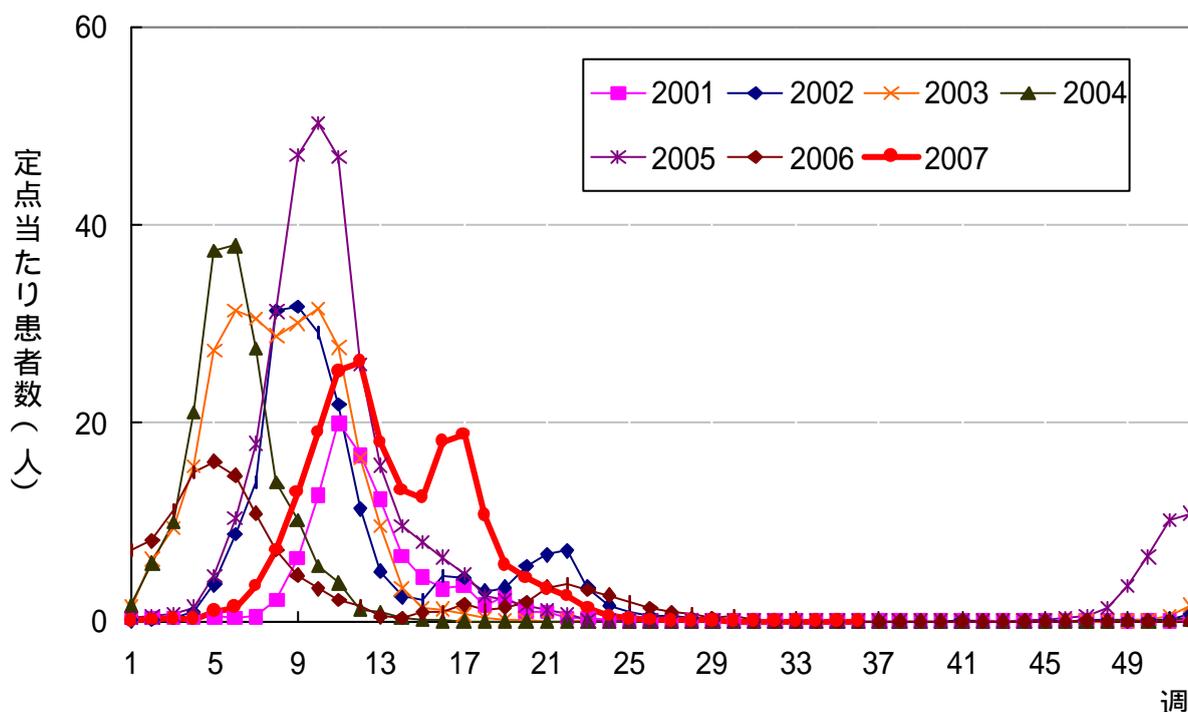


図1 インフルエンザの年別・週別発生状況、岩手県 (2001年第1週～2007年第36週)

2006/07シーズンを過去6シーズンと比較すると、流行の始まりは2番目に遅く、ピークの週は最も遅くなりました。また、ピークの高さは5番目でした。

4月から5月中旬にかけての患者数は、2000/01シーズン以降で最も多くなり、学校等の閉鎖措置も第16週には13件、第17週には25件と多くの報告がありました。

地区別では、全ての地区で流行期間中に注意報値（定点あたり患者数10人）を超えました。また、花巻、北上、奥州、大船渡および久慈地区では、警報値（同30人）を超えました（図2）。

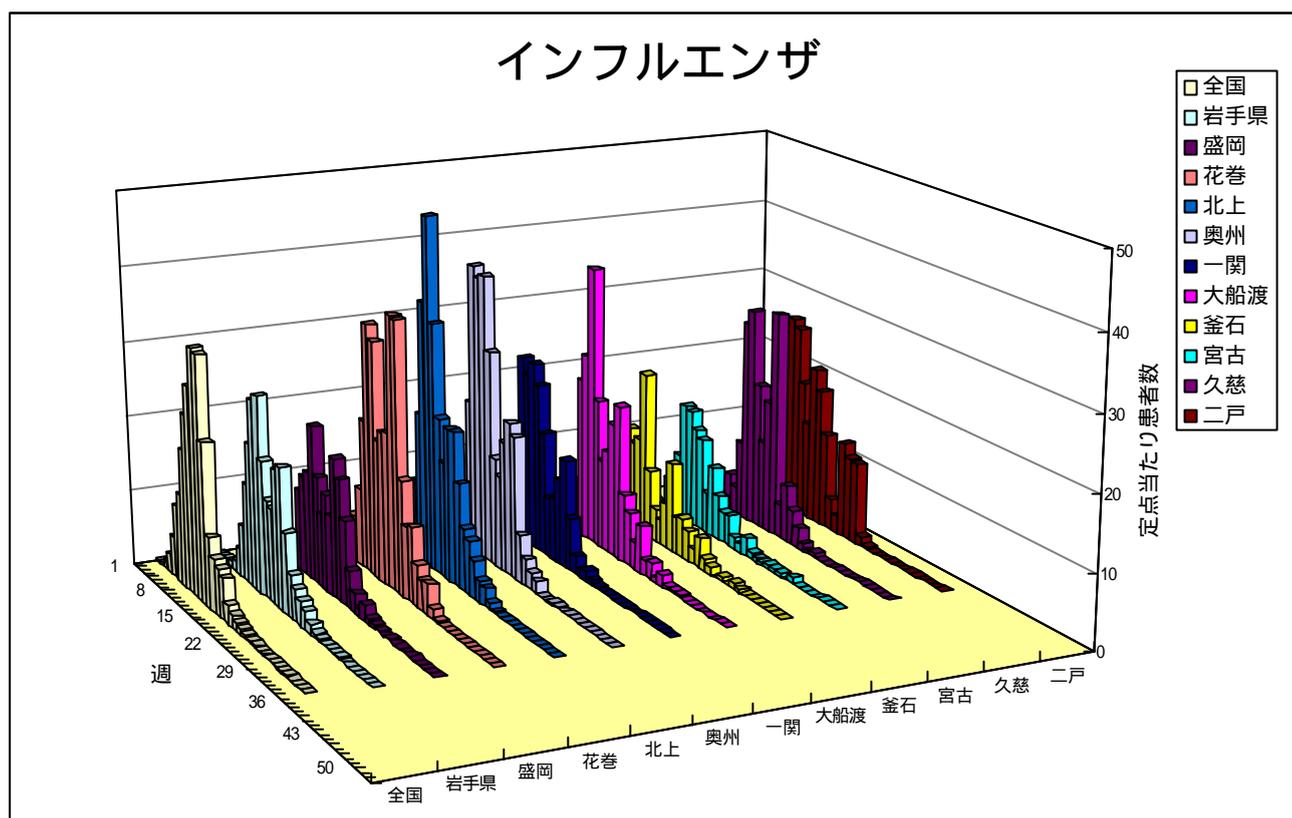


図2 インフルエンザの地区別発生状況、岩手県
(2007年第1週～第36週)

インフルエンザウイルス

岩手県環境保健研究センターでは、2007年1月から5月までに、AH3亜型（A香港型）43株およびB型16株をそれぞれ分離しました。AH3亜型は1月から4月まで、B型は2月から5月までそれぞれ分離検出されました（図3）。

分離したウイルス株は赤血球凝集抑制反応試験により抗原解析が行われました。AH3亜型は、43株中27株が、B型は16株中8株がそれぞれワクチン株と類似していました。

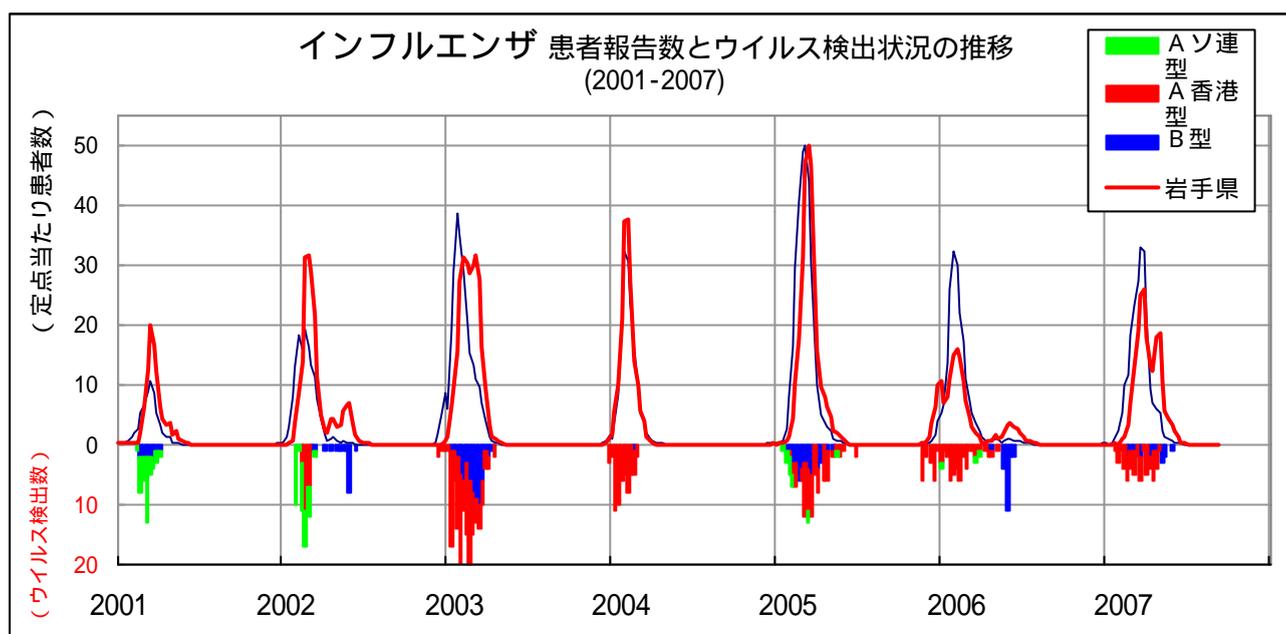


図3 インフルエンザ患者報告数及びインフルエンザウイルス分離状況、岩手県

患者年齢層

2006/07シーズンのインフルエンザの患者年齢層は、5～9歳の25.0%が最多であり、次いで10～14歳(20.6%)、0～4歳(19.2%)の順であり、14歳以下の患者が約65%を占めました(図4)。

5～9歳および10～14歳では、第11週(3/12～18)から第12週(3/19～25)と同程度の患者数が、第16週(4/16～22)から第17週(4/23～29)にも報告されました(図5)。

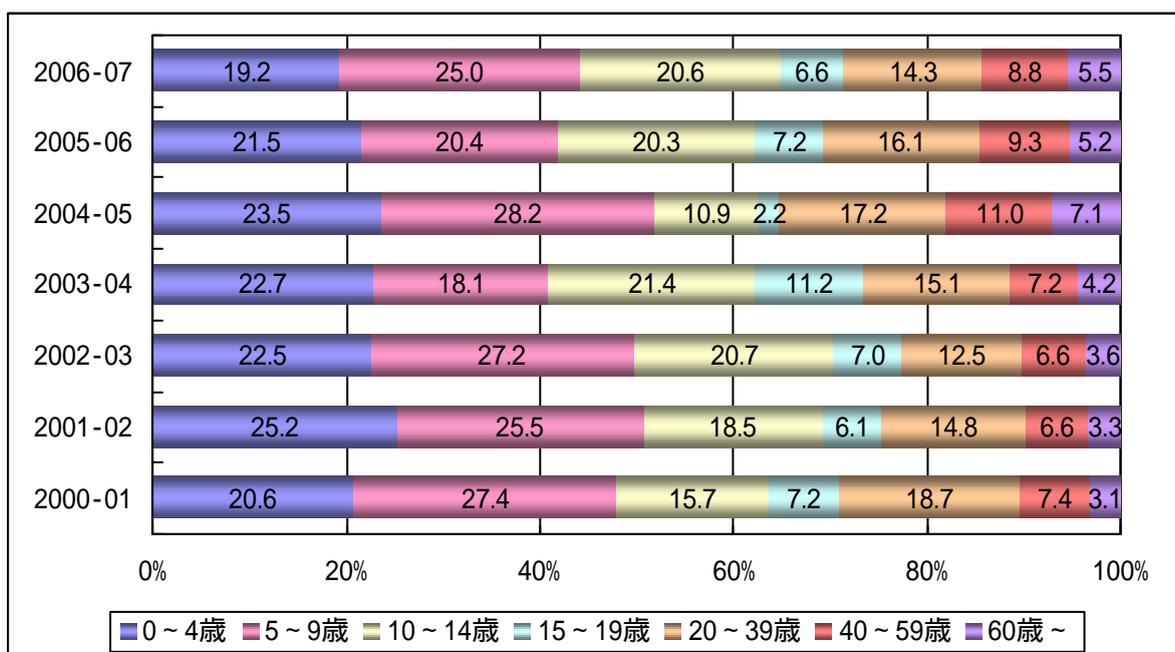


図4 インフルエンザ患者年齢分布(2000/01～06/07シーズン)、岩手県

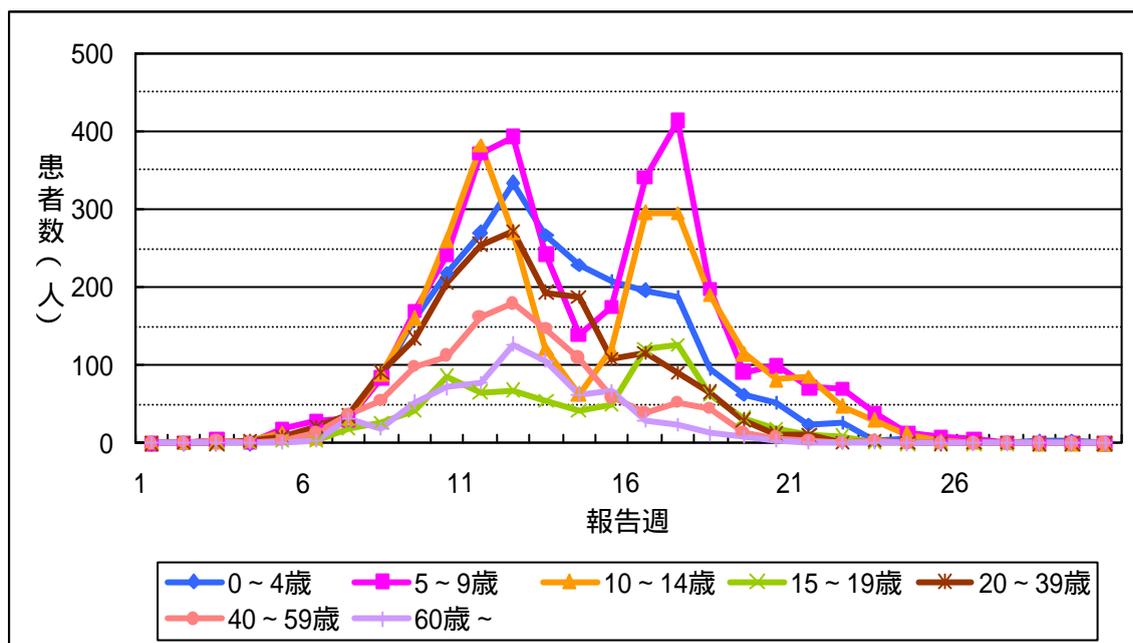


図5 インフルエンザ患者数の年齢層別推移、2006/07シーズン、岩手県

無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成19年第36週号外 平成19年9月14日発行
 監修：岩手県感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県感染症情報センター
 (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669(直通) FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>